

## 2023年度 国内・海外出張旅費に関する調査結果

国内出張「減った」が50.9%  
出張規程を「見直す」企業は21.7%

～今後の出張の機会・回数は、国内・海外共に「増える」とする企業も～

人事労務分野の情報機関である産労総合研究所（代表・平盛之）は、このたび「2023年度 国内・海外出張旅費に関する調査」を実施しました。本調査はほぼ2年おきに実施しています。

今回の調査項目は例年同様、国内および海外出張における規程の状況を調査したものです。コロナ禍を経て、ウィズコロナからアフターコロナへの転換期、また昨今の円安・物価高が、出張のあり方にどのような影響を与えているか注目しました。

コロナ禍中であった前回との比較でいうと、現在における国内出張の機会・回数が「減った」企業は50.9%と、前回の78.7%から減少に転じました。これを受け、今後は「増える」とする企業は約4割で、企業活動の再開や行動制限の解除と共に、出張回数を増やしている企業があることがうかがわれます。

なお、円安・物価高を受けた海外出張旅費は「増額しない」が64.9%でした。

こうした現状を踏まえ、規程を見比べるうえでの参考にしてください。

## 主なポイント

- (1) コロナ禍を経て約5割の企業が国内出張を減らす中、出張規程・運用ルール見直し済み企業は8%にとどまる
- (2) 宿泊料は、全地域一律は8,606円、実費上限は9,117円 出張時の宿泊料は据え置かれる傾向に
- (3) 出張時、航空機より新幹線の特別席が認められる傾向 いずれの役職も減少傾向で、役員は特に減少幅大
- (4) 海外出張減少企業は約5割 規程「特に変更はない」が半数超 規程上の円建て滞在費は、全地域で減少傾向

## ●調査概要

調査期間：2023年7～8月

調査対象：一般企業3,000社

回答企業：171社

調査内容：2023年度 国内・海外出張旅費に関する調査結果

調査結果ページURL：<https://sanro.cc/pr2312>

発表：『労務事情』誌 2023年10月1日号、10月15日号で公表後、公式サイト上に2023年12月27日に掲載

本件に関する  
問い合わせ先

『労務事情』編集部 担当：日野、石田、比留間

〒100-0014 東京都千代田区永田町 1-11-1 三宅坂ビル

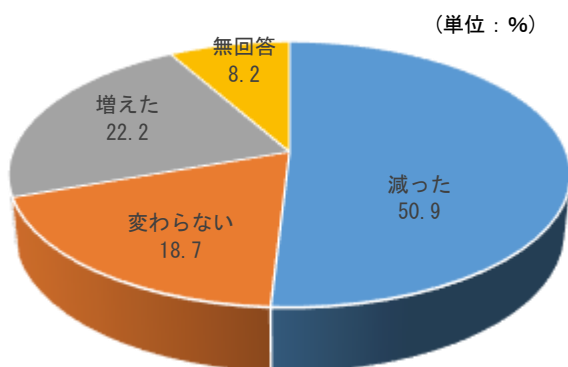
■電話 03(5860)9792 ■e-mail:edt-b@sanro.co.jp ■<https://www.e-sanro.net/>

(1) 【コロナ禍後の現在と今後における国内出張の機会と規程の見直し】

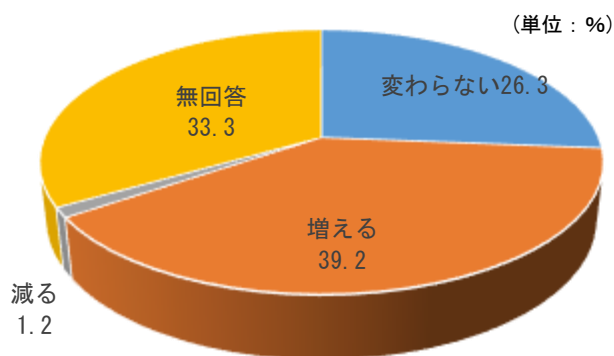
コロナ禍を経て約5割の企業が国内出張を減らす中、出張規程・運用ルール見直し済み企業は8%にとどまる

国内外の出張に大きな影響を与えたコロナ禍を経て、2023年度の現在と今後における出張の機会や、それを受けての規程の見直しに関する実態を尋ねたところ、現在における国内出張の機会・回数は「減った」が50.9%となりました。これに伴い出張規程や運用を「見直した」企業は8.8%にすぎず、「見直し中／見直し予定」を合わせても21.7%と低い水準になっています。

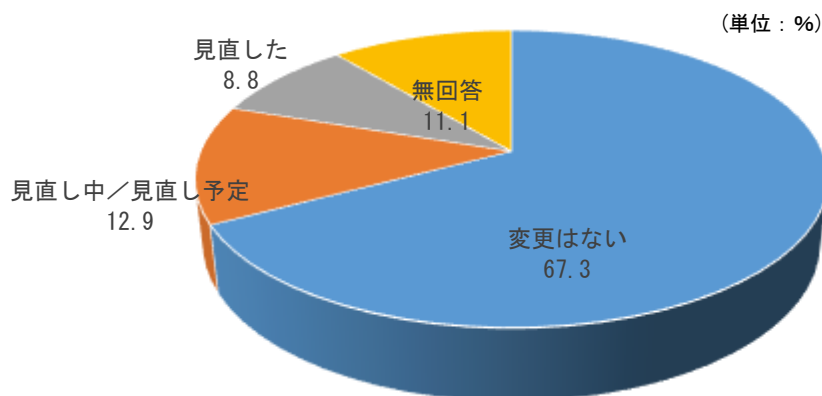
図表1 現在における国内出張の機会・回数



図表2 今後における国内出張の機会・回数



図表3 国内出張に関する規程・運用の見直し

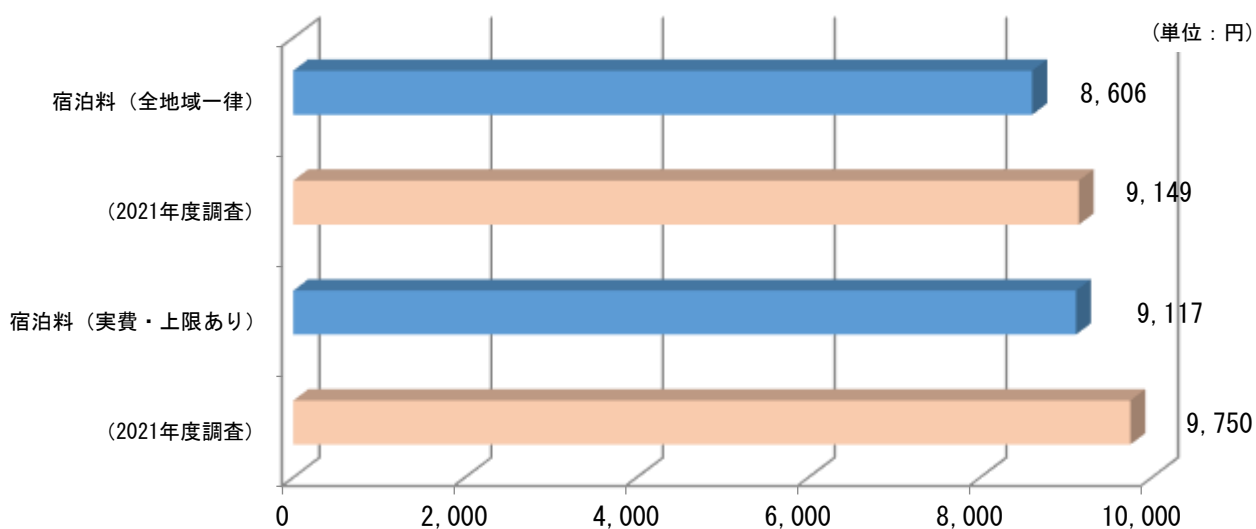


## (2) 【国内出張 宿泊出張の宿泊料】

### 宿泊料は、全地域一律は8,606円、実費上限は9,117円 出張時の宿泊料はやや低下傾向に

宿泊出張の宿泊料金について尋ねたところ、各企業の規程での金額は「全地域一律に支給される企業」で8,606円となり、過年度調査に比べやや減少、「宿泊料が実費支給とされる企業」の実費上限額は9,117円で、過年度調査と比べほぼ横ばいでした。ビジネスホテルの平均宿泊料は、ここ数年コロナ禍の影響を受け低下傾向にありましたが、規程上の金額については、今回の調査では500円程度の低下となっています。

図表 4 支給方法別 国内宿泊料の規定金額（2021年度調査との比較）



※ いずれも支給額が全国一律の場合である。

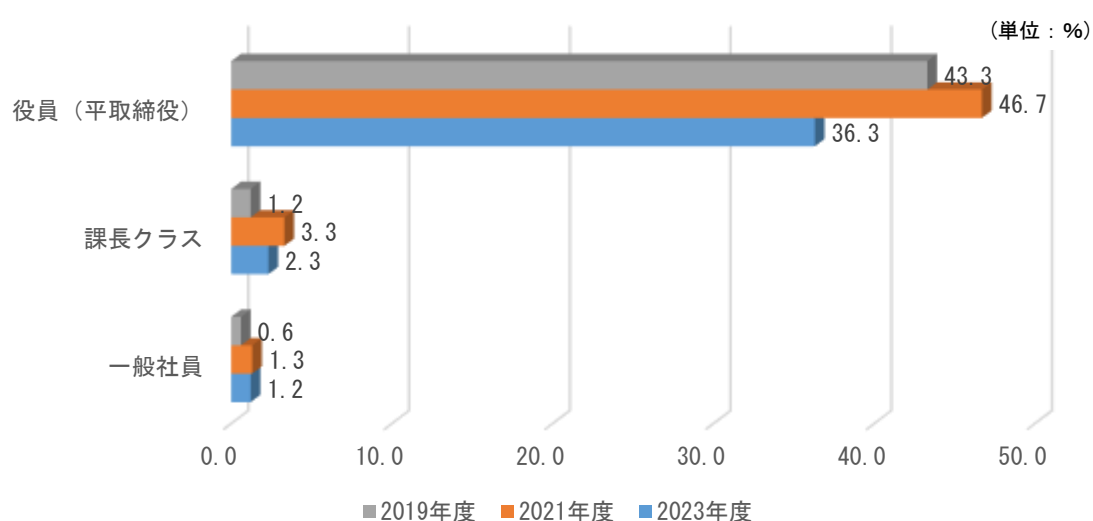
### (3) 【国内出張 新幹線、航空機でのグリーン車・スーパーシート等の利用】

## 出張時、航空機より新幹線の特別席が認められる傾向 いずれの役職も減少傾向で、役員は特に減少幅大

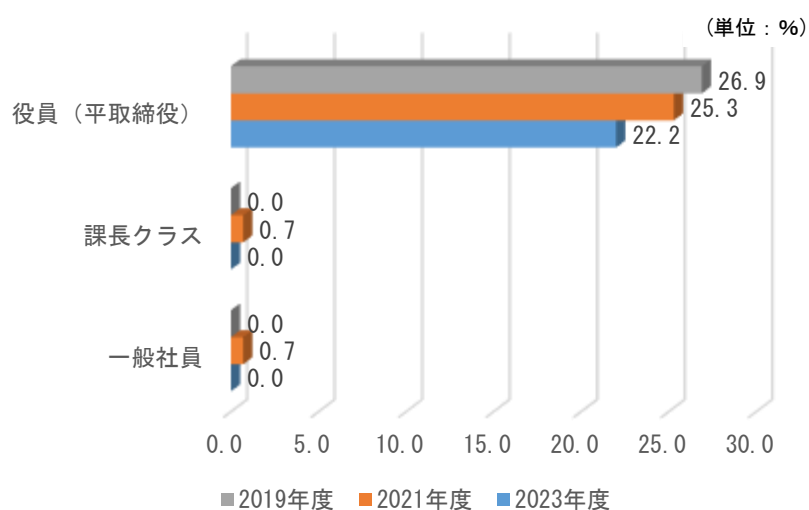
出張時の新幹線のグリーン車利用許可状況をみると、役員は36.3%、課長クラスで2.3%、一般社員は1.2%で認められており、いずれも減少傾向にあります。特に役員の減少幅が目立ちます。

一方、航空機のビジネスクラスなどスーパーシートの利用については、役員で22.2%、課長クラス、一般社員共に0%となっており、すべてのクラスで過年度調査より減少しました。

図表5 新幹線グリーン車の許可状況（推移）



図表6 航空機スーパーシート等の許可状況（推移）



(4) 【海外出張の機会と規程の見直し】

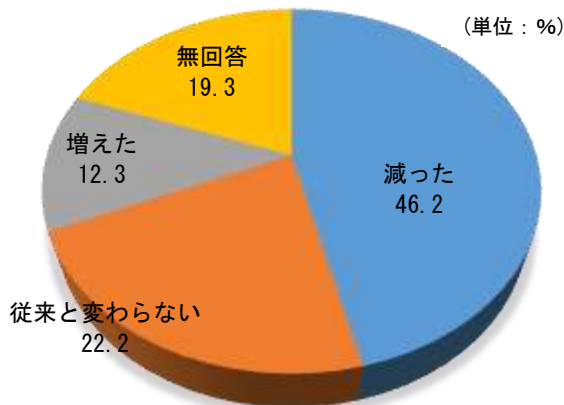
## 海外出張減少企業は約5割、規程「特に変更はない」が半数超 規程上の円建て滞在費は、全地域で減少傾向

海外出張は「減った」が46.2%で、規程については「特に変更はない」が半数以上の66.1%となり、「見直した」「見直し中／見直し予定」は合計で15.2%でした。

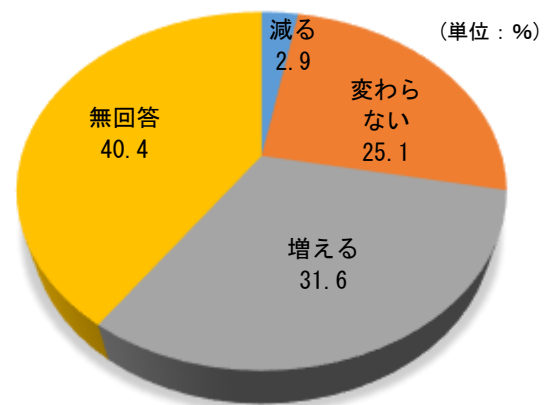
一般社員の滞在費を地域別にみると、北米16,735円、中国15,143円、東南アジア14,725円で、近年の時系列で見ると、どの地域も減少傾向にあります。

また、昨今の円安・物価高を受けた海外出張旅費増額の有無について、「増額した」企業はわずか5.8%で、64.9%の多数の企業が「増額しない」としています。

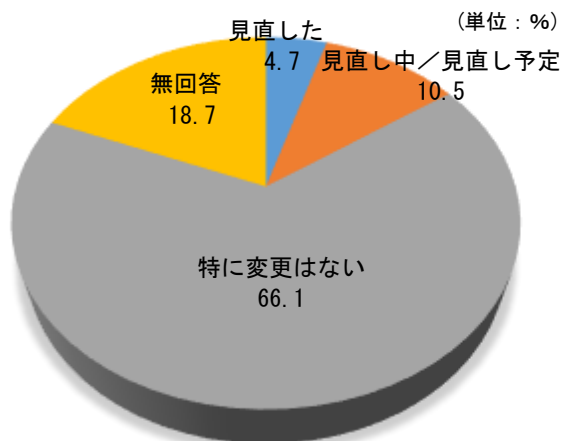
図表 7 現在における海外出張の機会・回数



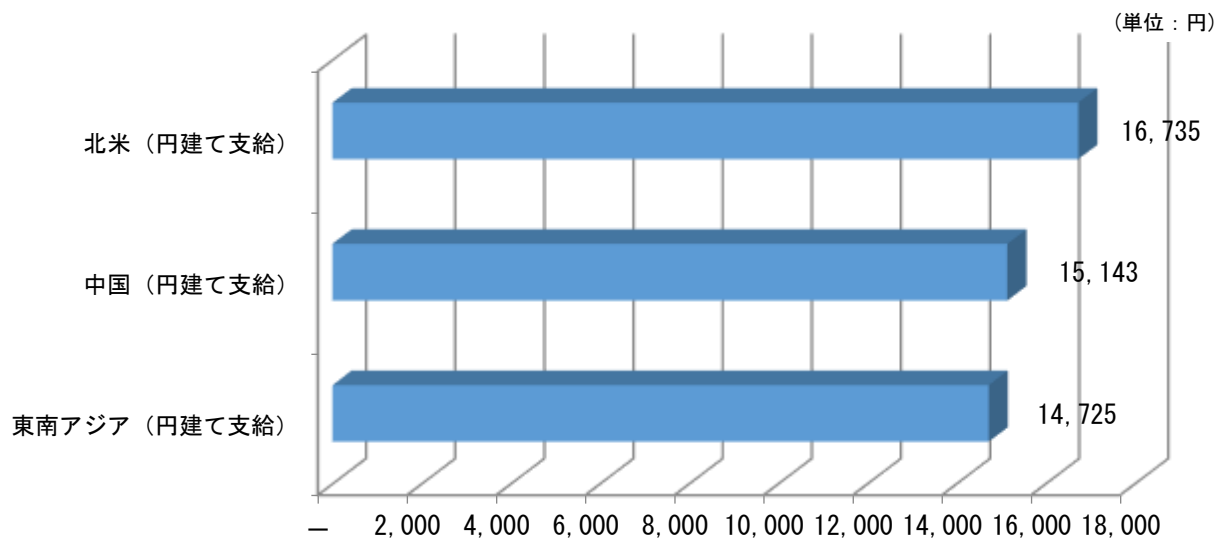
図表 8 今後における海外出張の機会・回数



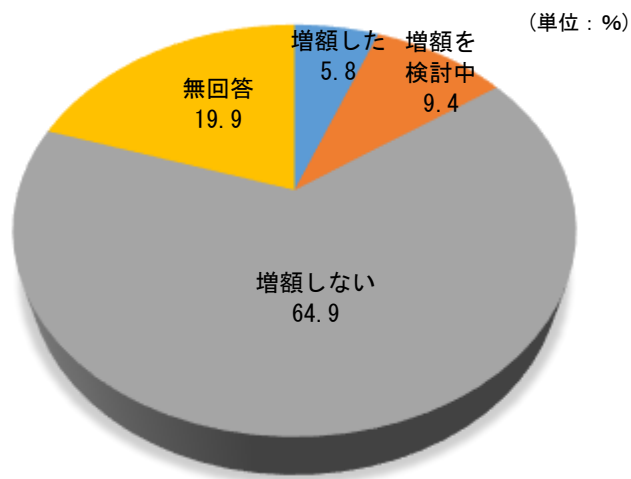
図表 9 海外出張に関する規程・運用の見直し



図表10 海外出張の滞在費（日当＋宿泊料＋食事代＋雑費）



図表11 円安・物価高を受けた海外出張旅費の増額



## 2023年度 国内・海外出張旅費に関する調査結果 —産労レポート（詳細版）販売について—

国内・海外出張旅費に関する調査は、出張費用の支給内容や取扱いなどについて、みなさんがどのように取り扱っているかを尋ねた調査です。

2023年度調査は、コロナ禍後の現在と今後における出張状況や規程の見直し、円安・物価高の影響について注目し、各種の調査を行っています。調査項目は収録内容比較表でご確認ください。

冊子版または電子版（PDF）どちらを購入しても 購入者特典のエクセル図表データが付属しています。  
商品同封のURLからダウンロードしてください。

<https://sanro.cc/pr2312d>

### 【販売概要】

- 冊子版・電子版（PDF） 税込価格 8,800円（送料無料）
- 64頁
- 発行日 2023年12月27日

### 【主な調査項目】

#### （国内出張）

- 日帰り出張 日当の支給状況、日当の支給基準、距離および所要時間の内訳、食事代の取扱い、日当の平均支給額、食事代の平均支給額
- 宿泊出張 日当の支給状況、食事代の取扱い、宿泊料の支給の有無と支給方法、宿泊料の地域区分、日当の平均支給額、宿泊料の平均支給額、宿泊出張旅費（日当＋宿泊料）の平均支給額、食事代の平均支給額
- その他の取扱い 早朝出発・深夜帰着の取扱い、長期出張の減額措置、新幹線・グリーン車等の利用、社有車・マイカーの利用、有期雇用社員の出張、出張の機会・回数、規程・運用の見直し

#### （海外出張）

- 支度料 初渡航時支度料の支給状況、初渡航時支度料の支給区分、初渡航時支度料の平均支給額、再渡航時の支度料の取扱い、
- 滞在費 滞在費の支給方式と食事代の取扱い、滞在費の支払通貨、日当・宿泊料の平均支給額、滞在費の平均支給額
- その他の取扱い 海外旅行傷害保険加入状況、長期出張の減額措置、機中泊の取扱い、航空機の利用クラス基準、海外出張の機会・回数、規程・運用の見直し、円安・物価高を受けた出張旅費増額の有無